

令和元年5月31日

第518号

横浜市立日吉台小学校

校長 玉置 恭美

教育目標

みずから生きる
ともに生きる
日吉台の子

ひよしだい

令和初めての運動会を終えて

副校長 栗原 信一

吹く風も次第に夏めいて参りました。先日は令和となり初めての運動会が盛大に行われました。今年度の運動会は、ここ近年で最も児童数が多く、運動会当日は二千名を超える方々が来場されました。また、来年度の箕輪小学校開校に伴い、現メンバーが一同に揃って行く最後の運動会でもありました。

暑さの厳しい日でしたが、児童一人ひとりがこれまでの練習の成果を十分発揮し、スローガン『一致団結！完全燃焼！みんなが輝く 運動会！』を体現できたように思います。

1年生にとっては、小学校生活初めての運動会。「あさからノリノリ！ぴかぴかスマイル！」と題して各クラス色とりどりのポンポンを身に付け、暑さに負けず終始スマイルで踊りきりました。一生懸命ウエーブのタイミングを合わせようとする1年生の姿が実に初々しく見えました。

2年生の「やってみよう！」では、難しい風車の隊形移動がありました。友達の動きを感じ取りながら一糸乱れぬ隊形移動からは、入学して一年以上が経過した2年生の成長を十分感じ取ることができました。

3年生は、中学年として初めて迎えた運動会。「パワフルフラッグ！！！」色とりどりの旗が巧みに、そしてダイナミックに振られていました。旗のなびく音が一つとなり、まさにパワーを感じた演技でした。

4年生の「台小エイサー2019～ダイナミック琉球～」では、暑さもあつてか、南国感たっぷりの演技でした。衣装も沖縄風に揃え、かけ声、パーランクーの音が一つとなり、学年の一体感を醸し出しました。

5年生は、いよいよ高学年の仲間入り。「Mix up！心を一つにガチダンス」と題して三部構成でまとめていました。巧みな動き、力強い動き、リズムカルな動きなど一つ一つの動きを心一つに丁寧に行いました。個人技の背筋倒立やブリッジでは、観客席から大きな拍手が自然と湧き上がりました。

そして最高学年6年生。「構え！」の合図で静寂のなか始まった「全力突破！台小ソーラン 2019」。腰を低く落として曲を待つ姿は、さすが6年生でした。台小伝統の法被を翻しながら、動きを合わせ、声を合わせ、仲間との時間を思い切り楽しんでいる様子が伝わってきました。最後に空に向かって突き上げた大漁旗と青い空、きっといつまでも忘れない思い出となることでしょう。

さて、今回の運動会開催に当たり、多くの皆様のご協力をいただきました。PTAの皆様には、年度当初から参観者が安全、快適に一日を過ごしていただけるよう学年毎のリボンを用意していただいたり、空きスペースを有効活用した休憩スペースを設けていただいたりしました。「おやじの会」の皆様には、児童がベストコンディションで競技、演技ができるよう、プログラムの合間の水まきやパトロール、撮影スペースでの声かけ、そして運動会終了後の後片付けをしていただきました。

この他、地域の学援隊の皆様には、東門附近でパトロールを行っていただきました。地域、保護者の皆様のご多大なるご協力に心から感謝申し上げます。

ところで今回の運動会は、猛暑のため、児童の健康を最優先し午前の部で打ち切りとしました。その後、教職員で話し合いを重ねた結果、児童の思いを大切にしたいという願いから、土曜参観を予定しておりました6月15日（土）に『運動会第二部』を実施する予定です。

今一度、大きなご声援をよろしく願いいたします。



▲開会式を盛り上げたバトン君